

# 5 幾度の噴火災害に貢献した有珠山の治山事業

北海道（洞爺湖町・伊達市・<sup>そうべつ</sup> 壮瞥町）

昭和52年噴火



平成12年噴火



被災直後（平成13年）



現在の状況（平成19年）



## ○所在場所

北海道虻田郡洞爺湖町・伊達市・有珠郡壮瞥町

## ○施設・工法の概要

遊砂地（6箇所）、導流堤（5,228m）、航空実播工（252ha）、治山ダム（1,373基うちツースダム（コンクリートリットダム）2基）、土留工、緑化工

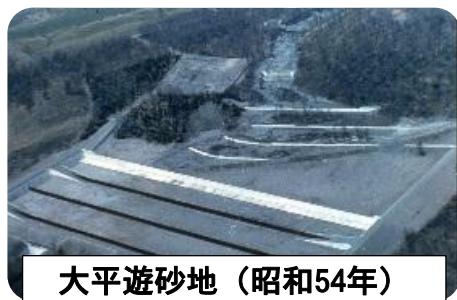
## ○解説

有珠山は20世紀以降4度の噴火を繰り返しており、最近では昭和52年と平成12年に噴火しています。昭和52年には多量の降灰に伴う土石流対策を治山事業で実施しています。また、平成12年の噴火で荒廃した森林は、泥流・土石流対策に加え山腹工により緑をよみがえらせたほか、次期噴火に備えて噴火対策も合わせて実施しています。

山腹工の実施状況（平成14年）



大平遊砂地（昭和54年）



大平遊砂地（現在）



ツースダム（昭和54年）



ツースダム（現在）

